

# 週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2011.01.24~01.28

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

\*記事は東京発行・最終版

## CHINA

1月24日（月）

兼松エンジ、特殊車の技術供与  
強力吸引作業車など／中国で製販

兼松エンジニアリングは、中国で給水車や浄水車など特殊車を手がける重慶耐德山花特種車と技術提携した。技術供与を受けた山花特種車が強力吸引作業車と高圧洗浄車を中国で製造販売。（6面）

THK、中国に第5工場  
直動案内機構／自動車向け

THKは、直動案内機構や自動車関連部品などの生産で、中国に5番目の工場を新設、2012年春に稼働。インド、ブラジルにも新工場を計画。設備投資は5割増の150億円。半分を中国に。（7面）

中国・台湾の経営資源を活用  
デジタル関連事業

デジタル関連事業で、中国、台湾企業の経営資源を活用し構造改革を進める。NECは中国のレノボとパソコン合併で最終調整（27日発表）。日立製作所も液晶で台湾の企業と提携を検討。（9面）

中国・台湾企業とのデジタル関連事業での連携	
N E C	中国・レノボとパソコン事業で合併
日立製作所	中小型液晶事業で台湾・鴻海精密工業グループと合併検討
エルピーダメモリ	台湾・力晶半導体とDRAMで合併。他の台湾メーカーを含め日台連合検討
ソニー	台湾・鴻海にテレビ工場売却。鴻海グループからテレビ用液晶パネルを大量調達
シャープ	中国・南京のCECパングへ液晶設備売却し技術供与。次世代の大型設備で合併投資を計画
東芝	中国・TCL集団とテレビ販売の合併設立
パイオニア	中国・上海汽車工業とカーナビで合併。中国・蘇寧電器がパイオニアブランドのテレビを販売
JVCケンウッド	台湾・瑞軒科技に液晶テレビで「JVC」ブランドを供与



北京大・ソウル大と提携  
一橋大／ビジネス・スクール

一橋大学は、中国・北京大学、韓国・ソウル大学の各ビジネススクールとの間で「BESTビジネス・スクール提携協定」を結んだ。東アジアで、ビジネスの研究・教育で相乗効果を出す。（22面）

米・中、経済協力強まる  
中国・胡錦濤国家主席が訪米

米国と中国が経済的な協力関係を強めそうだ。胡錦濤中国国家主席が訪米中、オバマ米大統領は「数年後、対中輸出が倍増」胡主席も「米中協力は有望」米中間で450億ドルの商談がまとまった。（24面）

1月25日（火）

日本無線、上海に現法  
造船好調／レーダーなど

日本無線は、造船建造量が急増する中国の営業強化のため、上海市に現地法人「ジェイアールシー貿易」を設立した。駐在員事務所を法人化。船舶レーダーなど各種無線を拡販する。（3面）

住友建機、ショベル5割増産  
中国工場などで／年1万5000台

住友建機は、2011年度の油圧ショベル生産台数を5割増の1万5000台に引き上げる。10年度はピークの07年度を超えて最高を更新する見通し。千葉工場と中国・唐山工場で増産する。（10面）

日立、広州に開発拠点  
スマートシティ事業化を支援

日立製作所は、広州にスマートシティ

（次世代型環境都市）の事業化を支援する開発拠点を新設する。同社はこれほど「広州ナレッジシティ」の開発推進母体と事業協力で合意した。（12面）

日立電線、産業用電線を生産  
高速鉄道網の整備需要／新工場棟

日立電線は、中国の子会社で鉄道車両向けなど産業用電線の生産を始める。約10億円を投資、新工場棟を建設。高速鉄道網の整備需要に、輸出から現地生産へ切り替えて対応する。（12面）

キリン、清涼飲料の合併  
中国・華潤と／332億円投資

キリンH.D.は、中国の飲料大手・華潤創業と清涼飲料事業を行う合併会社を設立する。出資はキリンが40%、華潤が60%。キリンは約332億円投資。中国での清涼飲料トップを目指す。（3面）



会見するキリンH.D.の代表取締役社長（手前）と華潤の代表取締役

1月26日（水）

マンション、中国の富裕層に  
三井不動産販売／現地社と提携

三井不動産販売は、中国の不動産仲介大手の北京ホームリンクリアルエステートサービス、商社の大河通商と業務提携。中国の富裕層向けに日本国内の中古マンションなどを仲介する。（3面）

外国人の不動産購入ローン  
三井不動産レジデンシャル／香港上海銀と

三井不動産レジデンシャルは、香港上海銀行と提携し、日本国内に居住していない外国人を対象にした不動産購入ローンを開発、共同で提供する。台湾やシンガポールなどを想定。（3面）

日立、上海に統括会社  
自動車機器システム

日立製作所は、上海に自動車機器システム事業を統括する新会社「日立汽車システム」を設立した。現地のサポート体制を強化し、世界最大の自動車市場である中国で事業拡大につなげる。（7面）

中国現法、深圳に上場  
オリエンタルエンヂ／50億円調達

オリエンタルエンヂニアリングが中国で資本参加して技術供与している現地法人が、深圳証券交易所に株式を上場。4億8000万元（約50億円）を調達。熱処理加工工場などの設備投資に。（10面）

1月27日（木）

LED電球、中国でも生産  
パナソニック／7割

パナソニックは、LED電球の中国生産を始める。インドネシアで生産していたが、2月の新機種から中国でも生産。杭州の液晶テレビ用バックライト工場の一部を転用。7割を中国で。（8面）

富士ソフト、中国で開発  
携帯電話組み込み系

富士ソフトは、中国でオフショア（海外委託）開発に乗り出す。グループ会社の現地法人に1億円出資、拠点として活用。開発要員を50人確保、携帯電話組み込み系システムなどを発注。（11面）

1月28日（金）

中国ホテル大手と戦略的マーケ  
東武ホテル／アジア客を誘致

東武ホテルマネジメントは、アジア最大のホテル運営会社・錦江国際酒店管理と、戦略的マーケティング契約で基本合意。スカイツリーの開業を見据え、アジアからの観光客を誘致。（3面）

堀場製作所がベトナム事務所  
大気汚染モニタリングなど

堀場製作所は、ベトナムに駐在員事務所を開設した。現地では大気汚染自動モニタリング装置や煙道排ガス分析装置などの需要が伸びている。代理店のサポートや市場調査拠点。（8面）

旭化成ケミ、韓国で樹脂原料  
年産24万5000トン／設備／200億円投資

旭化成ケミカルズは、自動車や家電製品などに使う合成樹脂の原料アクリロニリルの製造設備を韓国に新設する。約200億円を投資、年産24万5000トン。同社の生産能力は年119万5000トン。（17面）

植物由来の衣料用粉末洗剤  
ライオン／マレーシアとタイ

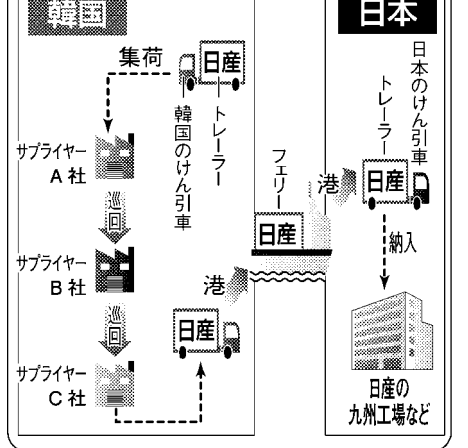
ライオンは、マレーシアとタイに地球環境に配慮した植物由来の原料を用いた衣料用粉末洗剤を2011年に入社する。独自技術で粉末加工した原料。アジアに技術や製品を積極展開する。（21面）

1月27日（木）

日・韓で部品を巡回集荷  
日産／積み替え軽減

日産自動車が日本と韓国の間の自動車部品物流にミル克蘭（巡回集荷）を計画。トラックで部品各社を巡り、韓国と九州間のフェリーを活用。コンテナからトラックへの積み替えを軽減。（1面）

日産が計画するミル克蘭



首都高が駐在員事務所  
タイ・インドネシアに

首都高速道路は、3月にもASEANのタイとインドネシアに駐在員事務所を設置する。同社はASEAN域内で道路インフラのコンサルタント業務などに取り組んでいる。（2面）

河合楽器、インドネシアに販社  
工場拡張／ピアノ売上高3億円

河合楽器製作所は、ピアノ需要の増加



NECが直面する危機と決断  
パソコン事業で大なた／レノボと合併

NECが、かつての看板事業のパソコン事業で大なたを振るう。コモディティ化したパソコンの厳しい現状から脱却すべく、行き着いたのは中国・レノボとの合併だった。（深層断面＝38面）

アイシンAW、中国第2工場  
F F車用自動変速機／年24万台

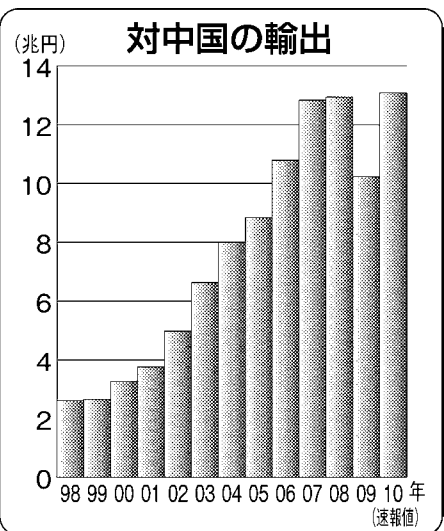
アイシン・エイ・ダブリュは、蘇州市にF F車用自動変速機の工場を建設し、2013年半ばに稼働。約180億円投資。年産能力は24万台。主にトヨタ自動車向けに供給。天津に続き2カ所目。（5面）

日本車が25%で2位  
中国3大都市の20 40代男性

中国3大都市（北京、上海、広州）に住む20 40代の男性への調査によると、保有する自動車は中国車が全体の41.5%で最も多く、日本車が25.6%で2位だった。香港の調査会社まとめ。（5面）

対中輸出、最高を更新  
昨年27%増／13兆円

2010年暦年の中国向けの輸出額が前年比27.9%増の13兆873億円に達し、過去最高となったことが、財務省の貿易統計（通関ベース、速報）で分かった。輸入



相手国も9年連続でトップ。（2面）

日本バルカー、上海2倍に拡張  
フッ素樹脂製品増産

日本バルカー工業は、2011年末までに数億円を投じ、上海市でフッ素樹脂製品を製造する工場を現在の2倍に拡張する。フッ素樹脂製フィルムや電線周辺部材向け加工品などが好調。（11面）

東レ、PETフィルム増産  
年産1万5000トン増強／日本から移設も

東レは、中国で光学用PETフィルムを増産する。年産1万5000トンの光学用厚物フィルム製膜設備を増強。約55億円投資。また、日本から中国に約6600トンのPETフィルム生産設備を移設。（11面）

## TELOP

香港企業への出資、51%に  
ミットヨ、引き上げ（24日2面）

蘇州に車向け切削加工部品会社  
岡谷鋼機と林精鋼（25日16面）

中国に完成品を直接輸入  
エーザイ（25日23面）

日立造船、ゴミ焼却炉受注  
四川省／日量800トン（26日8面）

大連第2物流センターが稼働  
センコー・蝶理（26日21面）

日立キャピタル、上海に拠点  
情報通信機器などリース（28日27面）

ひと  
本気で考えない

「時間の問題と思っていた」。石油連盟会長（出光興産会長の）天坊昭彦さんは、中国のGDP世界2位についてこう語る。中国は国家資本主義で成長し続けている。「日本は20年成長していない。デフレで縮こまっている」と憂える。「どうやって成長するか、もう一回本気で考えないといけない」。（1月24日＝15面）

日本の中小に狙い

日本M&Aセンター会長 分林保弘さんは、中国企業が日本の中小企業を狙う背景について「技術力を確保したいとの思いがある。中国の自動車、電子電機、食品などから500件の相談がある。同業で技術力のある中小企業を望んでいる。日本の中小は5割が後継者難、売却する企業は増えるだろう」。（1月24日＝24面）

## ASIA

1月24日（月）

インドでの生産品目を拡大  
カルソニックカンセイ／合併工場

カルソニックカンセイは、インドで現地生産する品目を拡大する検討に入った。空調室内ユニットの最終組み立てを手がけている現地合併のチェンナイ工場を活用する方針。（6面）

スリーボンド、インド新工場  
接着剤／5億円投資

スリーボンドは、インドで接着剤などを拡販するため現地に約5億円を投じて新工場を建設する。インドの経済成長にあわせて着制市場も拡大すると判断し、重点市場と位置付ける。（12面）

アジアの都市間連携を主導  
水ビジネス／東京都

東京都は、水ビジネスの国際展開に向け、アジアの都市間連携を主導する。国際水協会のアジア太平洋地域会議が今秋、日本で初めて開催。各国の水道事業の実情や技術課題を協議。（28面）

1月25日（火）

シンガポールの物流拠点集約  
阪急阪神エクス／空港近隣に大型倉庫

阪急阪神エクスプレスは、シンガポールの拠点を再編する。チャンギ国際空港近くに大型倉庫を新設。同国の2拠点を閉鎖する。新倉庫の延べ床面積は7700平方メートル。処理能力は4割増。（1面）

「アジアの成長取り込み」  
首相、施政方針／「平成の開国」

第177回通常国会が24日召集され、菅首相は施政方針演説の冒頭で「平成の開国」を強調。「勢いを増すアジアの成長をわが国に取り込み、国際社会と繁栄をともにする」とした。（2面）

原子力協定、トルコと初会合  
年内の締結目指す

政府は、トルコ政府と原子力の平和利用を定める原子力協定を締結する交渉について、アンカラで初会合を開く。同国への原発輸出の前提となる協定で、今年中の締結を目指す。（2面）

高速4社「アジアの高速」に照準  
有料道路インフラ一括受注

東日本高速道路など主要な高速道路3社と首都高速道路は共同で、アジアなど海外の有料道路インフラを設計から運用

まで一括受注する共同出資会社を12月までに設立すると正式発表。（3面）

2輪クラッチ、コスト3割減  
エフ・シー・シー／インド・中国向け

エフ・シー・シーは、インドや中国などの新興市場をターゲットとする廉価型の2輪車用クラッチを開発した。設計の見直しや部品点数の削減、材料見直しでコストを3割低減した。（4面）

家庭用ミシン、タイ6割増産  
蛇の目／インドなどの需要対応

蛇の目ミシン工業は、2012年度までに家庭用ミシンのタイ工場の年産能力を現状比6割増の120万台に引き上げる。インドやロシア、中南米などの新興国市場での需要の伸びに対応する。（8面）

通貨処理機、インドを開拓  
グローリー／ニューデリーに販社

グローリーは、金融機関向け通貨処理機でインド市場を開拓するため、4月にもニューデリーに販売会社を設立する。インドでは偽札が社会問題化、銀行で再流通可能な紙幣の選別が義務。（10面）

廃プラから高品質の油再生  
リサイクルエナジー／アジア拡販

リサイクルエナジーは、廃プラスチックからワックス分をほとんど含まない高品質の油を再生する連続運転式の油化装置の販売を本格化する。アジア圏を中心に海外需要を掘り起こす。（19面）

SBI、韓国LGと合併  
海外展開時、システム安定供給

SBIホールディングスは、韓国LGグループのシステム関連会社との合併会社を2月、都内に設立する。金融サービスのシステム関連コストを削減。海外展開時、安定的にシステムを供給。（27面）

梅田工業、インドネシア増強  
2輪・4輪車用電装部品／1.5倍

梅田工業は、2輪・4輪車用電装部品を生産するインドネシア・ジャカルタの工場を増強する。プレス加工機などを新規導入し生産能力を従来の1.5倍に高める。総投資額は5億円。（33面）

台湾・中国で商談会  
大分県産業創造機構／半導体・食品

大分県産業創造機構は、2010年度内に台湾・台北市と中国・福建省福州市で半導体、食品関連の商談会を開く。マッチング機会をつくり、海外進出を目指す企業の販路開拓を後押しする。（35面）

韓国・印のサプライヤー開拓  
三菱ふそう／新規30社以上

三菱ふそうトラック・バスは、新小型

1月26日（水）

韓国・印のサプライヤー開拓  
三菱ふそう／新規30社以上

三菱ふそうトラック・バスは、新小型